

十月十九日

朝、鳴子温泉越後屋主人、鳴子町づくり株式会社吉田さんと久し振りに電話で話す。私事多忙のようであるがお元気そうだった。鳴子も市町村合併の流れの中にある。役人の数を減らす為の合併と、個々に特色のある地域の力づくりは、行政の合併という形式でしか成立しないのかの疑問は多々ある。十勝の後藤氏、東北の結城氏と話す。杉全カメラマンと話す。

新大久保で古市氏に会う。十七時過世田谷宗柳で写真家の杉全泰氏と会う。どうやら彼は今、ラオスに関心があるらしい。一年の半分はラオスで暮らしたいとの事。出版で考えているアイデアの相談。人物百人シリーズ。等。再び山田脩二来る。二十一時半迄。色んな相談。淡路山勝工場の件など。

十月二十日

朝、馬場昭道さんより連絡。日仏連会談の件。北京が動き始めたので、動く。山口勝弘先生と連絡。今日、午後うかがう事とする。天気が良くて気持ち良い。

午後多摩プラザの山口勝弘先生を訪ねる。鎌倉近代美術館の展覧会も間近となり、充実した日々を過ごしているようであった。何を話したではなく、話し終えた後、異様な感動を覚えた。その感はずいぶん持続し、夕方研究室へ行くのも勝手にキャンセルしてしまった。恥ずかしい事であるが、この感動をきちんとした形にしておく必要を痛感したのである。